【 建設通信新聞 令和5年1月23日 】

鳥インフルエンザの防疫措置を開始

群馬建協前橋支部

群馬県建設業協会前橋支部（泉野高志支部長）は、前橋市内の採卵鶏農場で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫作業を開始した＝写真。同建協としての鳥インフルエンザ防疫は初となる。

県は18日、約47万4000羽を飼育する農場で同インフルエンザの疑似患畜を確認した。19日早朝に県農政部から群馬県建設業協会の青柳剛会長に防疫作業の協力要請があり、建協本部と建協前橋支部に対策本部を設置した。

前橋支部作業班は、24時間4交代制で当面26日ごろまで延べ373人が対応する。支部全51社に協力を依頼し、21社で対応することを決めた。20日午前6時から掘削作業と仮囲いを始めた。埋却溝2本の規模は深さ4㍍×長さ50㍍。

【 建設工業新聞 令和5年1月23日 】

鳥インフルに対応

前橋支部が掘削作業

会見する塩原副本部長㊧と宮下学前橋支部土木委員長

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は、18日に前橋市で確認された高病原性鳥インフルエンザへの対応を同日から開始した。協会本部と前橋支部に対策本部を設置。19日から前橋支部の会員企業が約45万羽の殺処分に伴う埋却溝の試掘作業を市内で始めた。24時間4交代での作業方針を決めたが、埋却数が増加し、支部の21社で対応することにした。

＝1面参照

掘削作業

18日の検査で陽性が確認され、県から一報が入った。群馬建協は同日中に埋却処分に使うと予想されるブルーシート100枚を備蓄分から前橋支部に提供し、同支部は重機を手配した。対策本部の設置後、同支部は埋却作業の打ち合わせを県の担当者と始めた。殺処分の開始は19日。前橋支部の作業班は20日時点で、深さ4㍍、長さ50㍍の埋却溝を2本掘削している。殺処分は25日の完了が予定されている。

20日に前橋市の群馬建設会館で会見した塩原聡前橋支部鳥インフルエンザ対策本部副本部長（塩原建設社長）は、「年度末に向かい（建設工事の）予定を変更して作業している会員企業や、重機の運転手がいる。県からは工期の延長などに柔軟に対応してくれると聞いている」と状況を説明した。鳥インフルエンザの発生は県内で2例目。埋却は初めての対応になる。同席した青柳会長は「地域建設業の役割をしっかり果たしたい」と述べた。

【 群馬建設新聞 令和5年1月21日 】

県内2例目となる鳥インフル

群建協本部および前橋支部

26日まで21社延べ378人従事

1月19日から殺処分を開始した鳥インフルエンザに関する埋設作業について、群馬県建設業協会（青柳剛会長）および前橋支部が最盛期の現場を止めて防疫作業に従事している。県による約47万4000羽のニワトリに対する殺処分が19日から始まっていることから、前橋支部では20日から24時間4交代制で対応。26日まで21社、延べ373人で埋設作業を行う事が決まった。

18日に前橋市の家きん農場において死亡羽数が増加したことから、当該農場から県に通報。簡易検査ではA型鳥インフルエンザ陽性であると確認した。群建協本部は同日午後4時40分に県農村整備課から連絡が入ると、仮囲いに必要なブルーシートの手配を行うとともに、前橋支部では埋却作業に必要な重機を手配した。

同日9時8分には県家畜衛生研究所で遺伝子検査を実施した結果、H5亜型であり高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることが確認された。今回の発生は、県内で1月1日に確認された初の事例から2例目となった。

これを受け19日、倉澤政則農政部長から青柳会長へ防疫作業の協力を要請。協会本部と前橋支部は高病原性鳥インフルエンザ対策本部を設置した。同日の午前10時には、県中部農業事務所と前橋支部が埋設作業の打ち合わせを行い、午後から埋設予定地の試掘を実施。20日午前6時から埋却作業と仮囲いを開始している。埋却溝の規模は深さ4m×長さ50m×2本、防護服は感染を避けるために2枚重ねで作業。埋却数量が多いため、当初計画を変更し前橋支部全会員に協力を依頼。21社が応えた。

なお、26日以降の防疫作業スケジュールは現在作成中としている。

埋設作業が行われる

【 令和5年1月26日付 読売新聞 】

前橋の養鶏場 殺処分を終了

鳥インフル

県は25日、鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が19日に確認された前橋市の養鶏場で、採卵鶏44万7959羽の殺処分が終了したと発表した。県職員や自衛隊員、県建設業協会会員ら延べ3576人が従事した。今後、埋設や消毒を28日まで行い、周辺農場の搬出制限や移動制限の解除は2月中旬を見込む。

また、1日に感染が確認された同市の別の養鶏場に関して、半径3キロ圏内にかけられていた移動制限が25日に解除され、全ての防疫措置が完了した。

一方、県は同日、玉村町で見つかったハシブトガラスの死骸から、遺伝子検査で高病原性のウイルスが検出されたと発表した。